計算書サンプル B（抜粋）
・補強計画
・必要耐力計算方法：精算法
・配置低減計算方法：偏心率法

一般診断法(方法１)による診断計算

物件名　　福井太郎邸　耐震診断　【耐震補強】

補強計画の診断で、不明壁が残っている場合に、
物件名の下に下記メッセージが表記されます。
「※不明壁が残っているので、この計算は不適切です。」
仕様を特定したうえで補強計画をして下さい。

2013年06月11日

診断士登録番号　第○○○○○号

担当診断士名　　○○○○　○○

ARCHITREND Z リフォームエディション 耐震診断 Version 2.0.0
［Ｐ評価○－Ｗ］

1階 柱壁配置図

※斜線部分は上階位置を表す
Ｇ 重心　Ｓ 剛心
Xw・Yw 開口壁

柱・壁の耐力（無開口壁）Qw

基礎形式：Ⅱ：ひび割れのある鉄筋コンクリート基礎、無筋コンクリート基礎

1階Ｘ方向　［在来軸組構法］

方向	No	仕　様	壁基準耐力Fw (kN/m)	計 (kN/m)		接合部耐力低減Kj		壁長 (m)		Qwi (kN)	Qw= ΣQwi (kN)
X	1	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 釘打ち ｼﾝｸﾞﾙ 石膏ボード張り(厚9以上)	1.10 2.60 1.10	4.80	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.71	×	1.82	=	6.20	
	2	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 釘打ち ｼﾝｸﾞﾙ 石膏ボード張り(厚9以上)	1.10 2.60 1.10	4.80	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.71	×	0.91	=	3.10	
	3	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 釘打ち ｼﾝｸﾞﾙ 石膏ボード張り(厚9以上)	1.10 2.60 1.10	4.80	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.91	×	1.82	=	7.95	
	4	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 釘打ち ｼﾝｸﾞﾙ 石膏ボード張り(厚9以上)	1.10 2.60 1.10	4.80	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.91	×	0.91	=	3.97	
	5	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 釘打ち ｼﾝｸﾞﾙ 石膏ボード張り(厚9以上)	1.10 2.60 1.10	4.80	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.91	×	0.91	=	3.97	
	6	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 釘打ち ｼﾝｸﾞﾙ 石膏ボード張り(厚9以上)	1.10 2.60 1.10	4.80	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.71	×	1.82	=	6.20	
	7	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 釘打ち ｼﾝｸﾞﾙ 石膏ボード張り(厚9以上)	1.10 2.60 1.10	4.80	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.71	×	0.91	=	3.10	
	8	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 釘打ち ｼﾝｸﾞﾙ 石膏ボード張り(厚9以上)	1.10 2.60 1.10	4.80	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.71	×	0.91	=	3.10	
	9	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 釘打ち ｼﾝｸﾞﾙ 石膏ボード張り(厚9以上)	1.10 2.60 1.10	4.80	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.91	×	0.91	=	3.97	
	10	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 釘打ち ｼﾝｸﾞﾙ 石膏ボード張り(厚9以上)	1.10 2.60 1.10	4.80	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.71	×	0.91	=	3.10	
	変更11	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 BP-2または同等品 ﾀﾞﾌﾞﾙ 構造用合板(耐力壁仕様)	1.10 6.40 5.20	10.00	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.85	×	0.91	=	7.74	
	変更12	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 BP-2または同等品 ﾀﾞﾌﾞﾙ 構造用合板(耐力壁仕様)	1.10 6.40 5.20	10.00	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.85	×	0.91	=	7.74	
	13	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 釘打ち ｼﾝｸﾞﾙ 石膏ボード張り(厚9以上)	1.10 2.60 1.10	4.80	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.71	×	0.91	=	3.10	
	変更14	石膏ボード張り(厚9以上) 筋かい木材45x90以上 BP-2または同等品 ｼﾝｸﾞﾙ 構造用合板(耐力壁仕様)	1.10 3.20 5.20	9.50	×	接合Ⅱ 基礎Ⅱ 0.70	×	0.91	=	6.05	69.29
合計											69.29

基礎形式：Ⅱ：ひび割れのある鉄筋コンクリート基礎、無筋コンクリート基礎

1階Ｙ方向　［在来軸組構法］

方向	No	仕　様	壁基準耐力Fw (kN/m)	計 (kN/m)		接合部耐力低減Kj		壁長 (m)		Qwi (kN)	Qw= ΣQwi (kN)

劣化度による低減係数 dK

（築１０年以上）

部位		材料、部材等	劣化事象	存在点数	劣化点数
屋根葺き材		金属板	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれがある		
		瓦・スレート	割れ、欠け、ずれ、欠落がある	2	2
樋		軒・呼び樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	－
		縦樋	変退色、さび、割れ、ずれ、欠落がある	2	－
外壁仕上げ		木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある		
		窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある		
		金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある		
		モルタル	こけ、0.3mm以上の亀裂、剥落がある	4	－
露出した躯体			水浸み痕、こけ、腐朽、蟻道、蟻害がある	－	－
バルコニー	手すり壁	木製板、合板	水浸み痕、こけ、割れ、抜け節、ずれ、腐朽がある		
		窯業系サイディング	こけ、割れ、ずれ、欠落、シール切れがある		
		金属サイディング	変退色、さび、さび穴、ずれ、めくれ、目地空き、シール切れがある	1	－
		外壁との接合部	外壁面との接合部に亀裂、隙間、緩み、シール切れ・剥離がある	1	－
	床排水		壁面を伝って流れている、または排水の仕組みが無い	1	－
内壁	一般室	内壁、窓下	水浸み痕、はがれ、亀裂、カビがある	2	－
	浴室	タイル壁	目地の亀裂、タイルの割れがある		
		タイル以外	水浸み痕、変色、亀裂、カビ、腐朽、蟻害がある	2	－
床	床面	一般室	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	2	－
		廊下	傾斜、過度の振動、床鳴りがある	1	－
	床下		基礎のひび割れや床下部材に腐朽、蟻道、蟻害がある	2	－
合計				22	2

1-(劣化点数/存在点数) ＝ 1-(2/22) ＝ 0.91 → 0.90

※耐震補強のため、劣化度上限は0.90となります。

劣化度による低減係数
補強計画での上限は、0.90とします。
ただし、現況の低減係数が0.90を超える場合は、
その値が上限値となります。